

日オ協発 08-06 号

2026 年 4 月 23 日

公認大会のタイミングにおけるランキング対象イベント認可に関する回答

岐阜県オリエンテーリング協会

会長 橋本 八州馬 様

公益社団法人日本オリエンテーリング協会

副会長 村越真

業務執行理事 高島和宏

業務執行理事 石澤俊崇

「公認大会のタイミングにランキング対象イベントを認める判断」に関する質問書への回答について

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より本協会の事業運営に対し、多大なるご尽力とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず、ねりんピック 2025 岐阜大会併設公認大会の開催にあたり、貴協会が多大なリソースを割き、自治体との連携や安全対策に万全を期して準備を進めてこられたことに対し、心より敬意を表します。それにもかかわらず、本協会の判断により貴大会の円滑な運営と集客に多大なる影響を及ぼしましたこと、深くお詫び申し上げます。

さて、2025 年 10 月 26 日付で貴協会より提出されました問題提起および質問書につきまして、以下の通り回答申し上げます。回答までに時間を要しましたことをお詫び申し上げます。

1. 質問 1 への回答：決定に関与した組織について

ランキング対象イベントの承認については、定型的な手続きとして担当委員会内の判断に委ねられておりました。今回の判断においては、公認大会の重要性を組織全体として再認識するプロセスが欠落しており、理事会および関係委員会間での情報共有が不十分であったことを認識しております。

2. 質問 2 への回答：判断の妥当性とチェック機能について

ご指摘の通り、今回の判断は「公認大会をサポートし、その価値を高める」という JOA の改革方針に照らして妥当ではなく、不適切であったと判断せざるを得ません。特に「別日

であれば問題ない」という形式的な判断が、参加者の移動負担や地方開催の特殊性を考慮していなかった点は、本協会の配慮不足でありました。今後は、公認大会の前後日程におけるランキングイベントの認可について、物理的距離や競技者の動線を考慮した「明確な制限基準」を策定し、委員会任せにしないチェック機能を構築して参ります。

3. コンプライアンスおよび組織運営に関するご指摘について

運営組織と特定業者との関係、および委員の兼任による利益相反の懸念についても重く受け止めております。これらは公益社団法人としての透明性を確保する上で看過できない課題です。現在、理事会において組織のあり方について検討を開始しており、外部の視点を取り入れたガバナンスの再定義を進めていく所存です。

今後の対応について

本件を重く受け止め、二度と同様の事態を招かないよう、今後の理事会や関連委員会において具体的な手順の策定を議題といたします。貴協会が地域におけるオリエンテーリングの普及と発展のために注がれている情熱に、本協会が十分に応えられなかったことを改めて反省し、信頼回復に向けて誠実に組織改革に取り組んで参ります。

略儀ながら、書中をもちまして回答申し上げます。

敬具